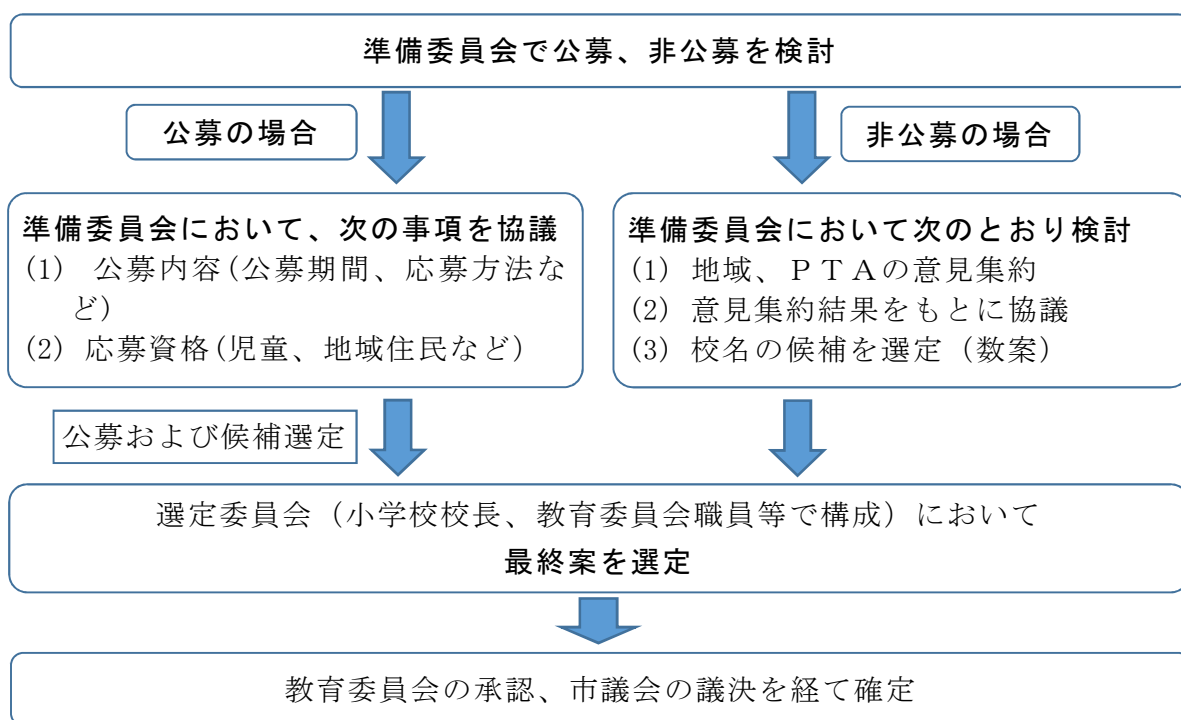


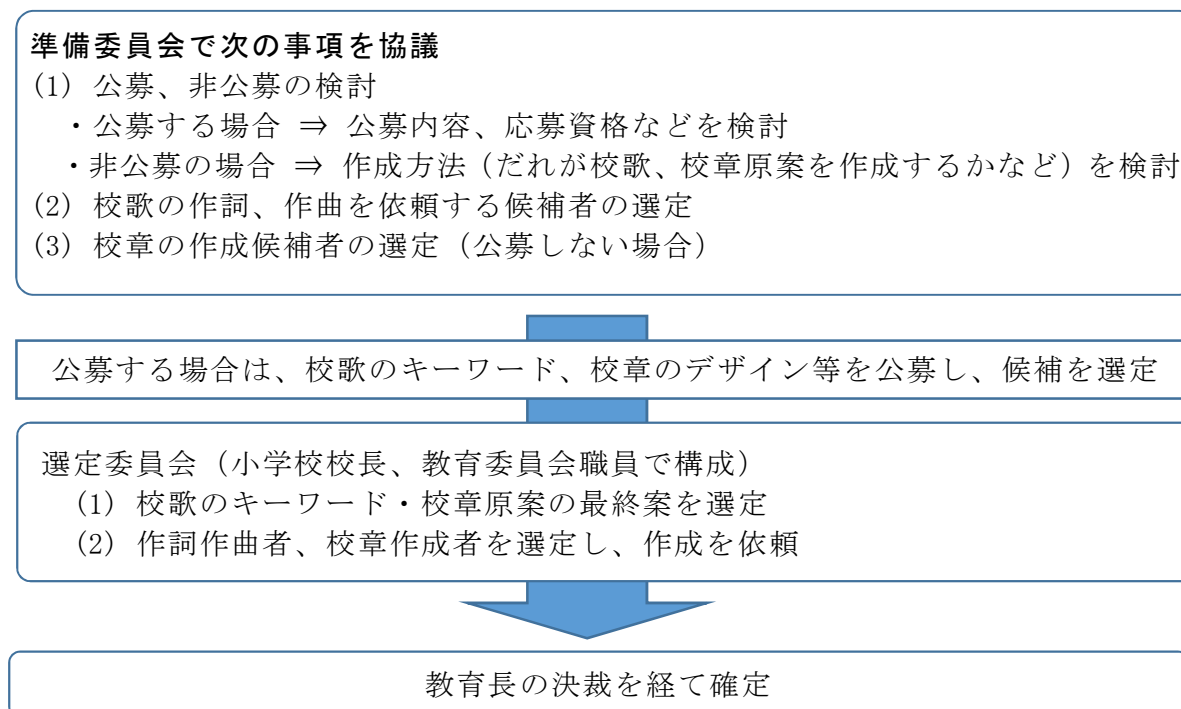
校名、校章、校歌決定までの流れについて

学校統合に伴い、築山小、中通小以外の新たな校名、校章、校歌を制定する場合、決定までの流れについては、次の例のとおりである。

1 校名の決定方法（例）



2 校章、校歌の決定方法（例）



(参考) これまでの統合における事例 (校名、校歌、校章)

1 校名、校歌、校章を新たに選定した事例

(1) 雄和小学校 (種平小、戸米川小、川添小、大正寺小 4 校の統合)

ア 校名

- ・開校準備委員会で校名の選定方法を協議し、一般公募することとした。
- ・応募があった校名から、校名等に関する選定委員会 (小・中学校校長と教育委員会で構成) において選考し、決定した。

イ 校章

- ・開校準備委員会で雄和地域 4 小学校の児童から原案を募集し、選定委員会の一次選考で 4 作品を選考した。
- ・秋田公立美術大学教授および学生、一次選考で原案を選考された 4 名の児童で共同ワークショップを開催し、デザインの補正作業を行った。
- ・選定委員会で 1 作品を選定し、美術大学教授の監修により仕上げた。

ウ 校歌

- ・雄和地域 4 小学校の児童から校歌に取り入れるキーワードを募集し、選定委員会において、採用するキーワードを決定した。
- ・キーワードを基に、作詞作曲家の橋本祥路氏に校歌の作成を依頼した。

2 現行の校名とした事例

(1) 飯島南小学校 (上新城小、飯島南小の統合)

- ・子どもたちへの影響を考慮しつつ、スムーズな統合を目指すため、校名を飯島南小学校とした。

(2) 秋田西中学校 (秋田西中、豊岩中、下浜中 3 校の統合)

- ・子どもたちへの影響を考慮し、西部地域の中学校であるという意味から、校名を秋田西中学校とした。

(3) 城東中学校 (太平中、下北手中、城東中 3 校の統合)

- ・東部地域の中学校であるという意味から、校名を城東中学校とした。

(4) 広面小学校 (広面小、太平小、下北手小 3 校の統合)

- ・3 校の歴史的つながりや、広面小の校歌に東地区を表す歌詞が含まれていることから、校名を広面小学校とした。

(5) 土崎小学校 (土崎小、土崎南小)

- ・地域や保護者などの意見を踏まえ、2 校の歴史や伝統を引き継ぎながら、未来へ向かって進んでいけるよう、校名を新生「土崎小学校」とした。

※校章、校歌について

- ・(1)から(4)までの各校は、校名を変更しなかったことから、校章、校歌も現行の小・中学校のものを使用した。
- ・(5)の土崎小は、校名決定の経緯を踏まえ、校章、校歌については変更した。